

「分析パターン③」にかかわる授業実践（小学校版）

授業指導案3（学活）

- 1 題材名 モジモジ行動、トゲトゲ行動、ハキハキ行動
- 2 活動内容 (2) 日常の生活や学習への適応及び健康や安全に関すること
- 3 授業でねらうこと

人の行動は、モジモジ（非主張的）行動、トゲトゲ（攻撃的）行動、ハキハキ（主張的）行動に分けられる。権利が侵害されそうなときに、トゲトゲ（攻撃的）行動をとると、相手を傷つけたり、トラブルになったりする。また、モジモジ（非主張的）行動をとると、自分の気持ちが伝わらなくて、損をしたり無気力になったりする。よりよい人間関係を築くためには、自分の立場を説明しながら、自分の権利も相手の権利も守る働きかけが必要である。

○自分の権利が侵害されようとしているときに、適切な主張をすることにより、トラブルを避け、自分の権利を守ることができることを理解し、そのような行動をしようという態度を養う。

- 4 本時の展開（パターン別の授業展開上の留意点を参考）

準備 ワークシート、ハキハキシート6枚、例題1・2（拡大）

三つの行動の特徴（拡大）、ハキハキ行動のポイント（拡大）

時間	学習内容	支援及び留意点	評価項目
15分	1、例題1について、A君は、どんな行動がとれるかを考える。 2、今日の学習のめあてをつかむ。	<p>○例題1を全員で読み、状況が理解できるように説明し、緊張がほぐれてから、この後A君は、どうすることが考えられるか（実際にありそうなこと）をワークシートの1に書かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出された考えをモジモジ（非主張的）行動、トゲトゲ（攻撃的）行動、ハキハキ（主張的）行動に分けながら板書する。 ・何も言わず（「あの～」）に帰る。 ・「ずうずうしいなあ、後だよ」と言う。 ・「すみません、みんな並んでいるので後についてください」と言う。 <p>（ハキハキ行動が、子どもから出ない場合は、教師から出す。）</p> <p>○自分を振り返って考えさせるため、自分なら、どの行動をとるか挙手させる。</p> <p>○数名を指名し、三つの行動を教師に向けてやらせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この場だけの演技であることを説明しておく。 <p>○日常の行動が、モジモジ（非主張的）行動、トゲトゲ（攻撃的）行動、ハキハキ（主張的）行動に分けられることと、それぞれの特徴を説明し、今日は、ハキハキ行動のよさとその行動がとれるようになるための学習をしていくことを説明する。</p> <p>○ハキハキ行動のポイントを説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の目を見て、相手の立場を考えながら行動する。 	
	3、ハキハキ行動を行う時のポイントやハキハキ行		

	<p>動のよさを理解する。</p> <p>例題1：A君（小6）は、これから発売されるゲームソフト（限定50個）を買うため、順番を待って並んでいました。すると、見知らぬ男の子（小6）が来て、A君の前に並びました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分は、～と思うから、～したいということ（理由や事情）を相手に伝える。 ・相手の立場（気持ち）を気づかいながら自分の立場（気持ち）を主張することができるのが、ハキハキ行動のよさであることを押さえる。 	
20分	<p>4、例題2を見て、三つの行動（モジモジ、トゲトゲ、ハキハキ行動）を考えてワークシートの2に記入する。</p> <p>例題2：A君は、B君に廊下でぶつかられ、痛い思いをしたばかりでなく、筆箱を落としてしまいました。3本の鉛筆の芯がおれました。しかし、B君は、そのまま通り過ぎて行こうとしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モジモジ行動なら、どうするでしょう。 ・トゲトゲ行動なら、どうするでしょう。 ・ハキハキ行動なら、どうするでしょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○例題2を示し、三つの行動（モジモジ、トゲトゲ、ハキハキ行動）を考えてワークシートの2に記入するように指示する。 ○モジモジ行動とトゲトゲ行動を発表させ、この二つの行動では、問題が解決できないことを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ワークシートに三つの行動を書いている。
分	<p>5、班ごとに、自分の書いたハキハキ行動（こんなふうにすると、問題が解決する）を出し合い、よりよいハキハキ行動を考える。</p> <p>6、班で考えたハキハキ行動を役割を決めてやってみる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○班に分かれる（各班に班長ができる子どもが入るように事前に配慮する）ように指示する。そして、班長の仕事（司会をして、みんなの考えを出させ、まとめて、ハキハキシートに記入する。どうしても言えない場合は配慮する。）を確認する。 ○班長が司会をして、まず自分の書いたものを言い、次に時計回りに班員の書いたものを発表させていくように指示する。 ○班で作ったハキハキ行動を役割を決めてやってみるように指示する。 ・相手の立場を受け入れながら自分を主張することは、大切であり、自分の権利を守ることは、相手の権利を守ることにつながることを説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○班で役割を決めてハキハキ行動を行っている。
10分	<p>7、ワークシートの3に記入することで、本時の振り返りを行う。</p> <p>8、感想を発表し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習を自己評価するため、ワークシートの3を記入させる。 以下の視点でワークシートを記入する。 ・本時の学習を通して分かったこと、思ったこと、感じたことなど。 ○感想を発表させ、お互いの気持ちを共感できるようにする。 	

事後指導：日常化を図るため、モジモジ・トゲトゲ・ハキハキ行動調べを行う。

ワークシート

番 名前 _____

1、

2、

()行動

()行動

()行動

3、今日の授業を通して、わかったことや気づいたこと、思ったことや感じたことなどを書きましょう。

三つの行動の特徴

モジモジ（非主張的）行動：がまんはしても、不満は残っている感じ

トゲトゲ（攻撃的）行動：自分の感情を相手にぶつける感じ。

→ケンカになる。

ハキハキ（主張的）行動：相手にわかってもらおうとする感じ。

（自分の感情より物事の解決をめざす。）

例題1：A君（小6）は、これから発売されるゲームソフト（限定50個）を買うため、順番を待って並んでいました。すると、見知らぬ男の子（小6）が来て、A君の前に並びました。

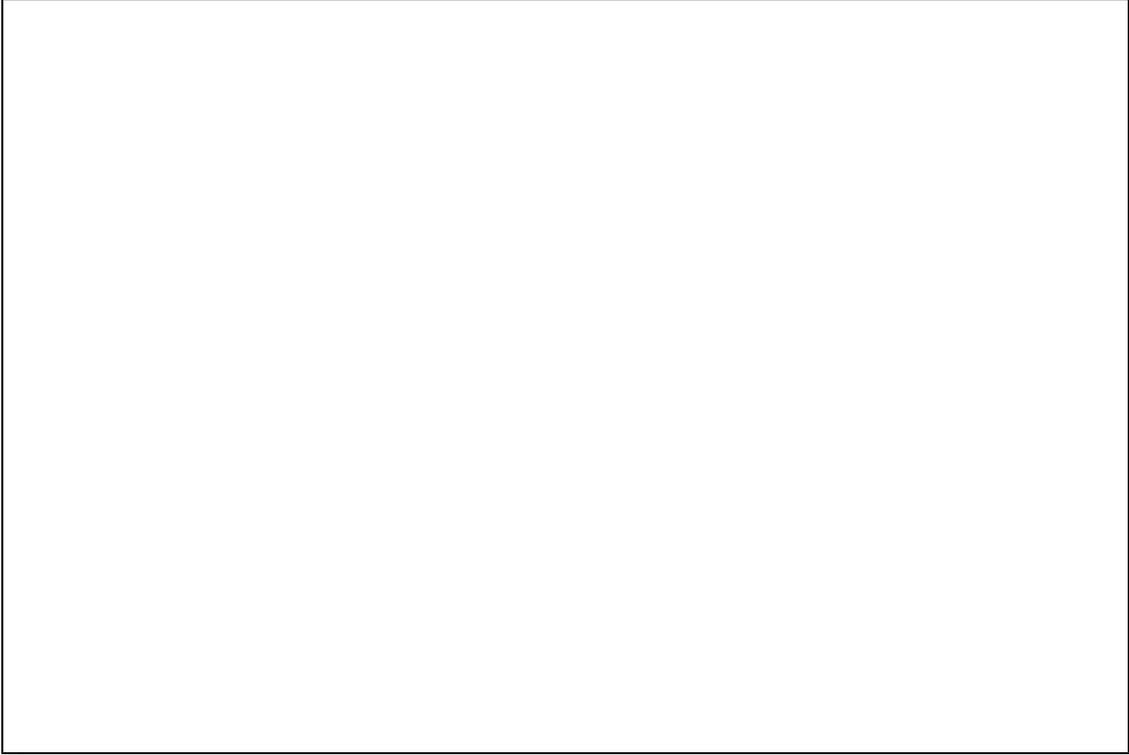
例題2：A君は、B君に廊下でぶつかられ、痛い思いをしたばかりでなく、筆箱を落としてしまいました。3本の鉛筆の芯がおれました。しかし、B君は、そのまま通り過ぎて行こうとしています。

- ・モジモジ行動なら、どうするでしょう。
- ・トゲトゲ行動なら、どうするでしょう。
- ・ハキハキ行動なら、どうするでしょう。

○ハキハキ行動のポイント

- ・相手の目を見て、相手の立場を考えながら行動する。
- ・自分は、～と思うから、～したいということ（理由や事情）を相手に伝える。
- ・相手の立場（気持ち）を気づかいながら自分の立場（気持ち）を主張することができるのが、ハキハキ行動のよさである。

ハキハキシート



ハキハキシート

